

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(平成22年1月分)

ご協力ありがとうございました。平成22年1月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 169社 回答 159社 回答率 94.1%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	10社 6.4% (7.2)	23社 14.7% (9.2)	64社 41.0% (38.2)	34社 21.8% (29.6)	25社 16.0% (15.8)	156社	20社 13.2% (10.1)	15社 9.9% (5.4)	35社 23.0% (12.2)	27社 17.8% (24.3)	55社 36.2% (48.0)	152社
売上高	10社 6.3% (5.9)	27社 17.1% (9.8)	61社 38.6% (36.6)	32社 20.3% (31.4)	28社 17.7% (16.3)	158社	15社 9.7% (5.4)	6社 3.9% (4.1)	30社 19.5% (11.5)	31社 20.1% (20.3)	72社 46.8% (58.8)	154社
在庫数量	3社 2.0% (1.4)	18社 11.8% (11.7)	82社 53.9% (43.4)	40社 26.3% (36.6)	9社 5.9% (6.9)	152社	3社 2.0% (2.8)	12社 8.1% (3.5)	34社 22.8% (16.3)	26社 17.4% (23.4)	74社 49.7% (53.9)	149社
販売単価	0社 0.0% (0.7)	9社 5.9% (2.7)	106社 69.3% (52.4)	36社 23.5% (38.1)	2社 1.3% (6.1)	153社	5社 3.4% (2.1)	6社 4.1% (4.9)	25社 16.9% (14.7)	27社 18.2% (13.3)	85社 57.4% (65.0)	148社
収益状況 (粗利)	4社 2.6% (2.6)	13社 8.4% (8.6)	80社 51.6% (35.8)	41社 26.5% (35.8)	17社 11.0% (17.2)	155社	18社 11.9% (6.8)	7社 4.6% (8.8)	33社 21.9% (8.8)	25社 16.6% (18.2)	68社 45.0% (57.4)	151社
稼働率 (生産・加工設備)	5社 4.0% (1.7)	16社 12.7% (7.4)	58社 46.0% (41.3)	35社 27.8% (38.8)	12社 9.5% (10.7)	126社	11社 9.0% (3.4)	16社 13.1% (9.5)	27社 22.1% (14.7)	24社 19.7% (27.6)	44社 36.1% (44.8)	122社
入出庫の トラック台数	5社 3.4% (1.4)	16社 10.8% (4.2)	75社 50.7% (46.5)	37社 25.0% (36.8)	15社 10.1% (11.1)	148社	13社 9.1% (1.4)	17社 11.9% (9.3)	30社 21.0% (18.6)	38社 26.6% (30.0)	45社 31.5% (40.7)	143社
現在の景況感	1社 0.7% (0.7)	3社 2.0% (0.0)	40社 26.1% (17.2)	28社 18.3% (23.2)	81社 52.9% (58.9)	153社	2社 1.4% (0.0)	17社 11.6% (5.6)	20社 13.7% (10.6)	24社 16.4% (18.3)	83社 56.8% (65.5)	146社
3ヶ月後の 景況予測	1社 0.7% (1.3)	3社 2.0% (0.0)	40社 26.1% (11.3)	35社 22.9% (27.3)	74社 48.4% (60.0)	153社						
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
 特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

## 景況実感調査（1月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 自動車関連部材は好調であるが、建材関連はまったく振るわない。この状況がしばらく続くと思われる。
- ② 引合い件数が漸増傾向にあり、成約率も上がってきた。材料は拡大基調の東南アジア需要と国内在庫圧縮の影響でタイト感が強くなってきた。併せて、原料高による価格アップ見通しの動きが強く、一部調達に苦勞するものも散見され出した。
- ③ 需給は最低の水準で推移しており、市況は大底。これ以上の下げ要因はなく、需要面に何か動意が起きれば、在庫逼迫は必至。市況反転も。
- ④ 前年比で見ればここ3ヶ月、売上は安定して推移しているものの、建材関連が厳しい状況にある。これからの期末が不安である。
- ⑤ 先高を見越した仮需により、一時的に品薄になりつつあり、仲間筋では唱え上げとなっている。しかしながら、末端需要はまったく振るわず、身動きがとりづらい。2月は我慢のしどころで、身の丈にあった仕入、販売が肝要と思われる。爪を伸ばし過ぎると、手痛いしっぺ返しが待っていそうである。
- ⑥ 東鉄の値上げ発表と鉄鉱石、石炭価格の見直し等々、国内需要とは裏腹に、新年度上半期の製品価格は下振れなしか。その可能性が強く、ますます国内流通は苦しい環境下での商売を強いられそうだ。1月は年度末需要もほとんど見られず、低調な荷動きとなった。在庫も各社最低レベルで、メインサイズはロール遅れも散見され、価格は維持されている。団地内での工場、倉庫の集約化も目にするようになり、中期的には需要にマッチした供給側のダウンサイジングに着手する会社もある。小さなパイを切り分けるには、現在の市場規模では無理がありそうな国内事情が続くとの判断か。
- ⑦ 高炉の値上げを見込んだ思惑買いが一部発生。足下の需要は良くないが、先に期待している。
- ⑧ メーカーの姿勢がはっきりしない中、値上げの話と値下げの話が混在している。

### 中板

- ① 1年前とは違って、先行きにやや光明が見え始めてきた感じがする。
- ② 1月の販売量は、仮需が入り、前月比大幅増となる。実需は依然として低調に推移する中、市況の下げはないという判断からであろう。東京製鉄の値上げも影響大ではあったが、今後、原料高によるメーカーの値上げも考えられ、仮需に動いたと思われる。市況は安値はなくなるも、まだ採算確保が難しい状況。先行きも実需が期待できない中ではあるが、市況は小刻みに上昇していくと予測する。当面、流通は厳しい局面は避けられないが、今後の東京製鉄と国内高炉の価格動向に注目している。

## 厚板

- ① 数量的に低いレベルであった前月とほぼ同水準であり、工場稼働率も6割程度と厳しい状況が続いている。新規橋梁の発注は期待されたが若干ずれており、春先以降に具体化してくると思われる。鉄骨は昨年延期となった首都圏の再開発関連の物件が復活し、順次切板の発注は出始めている。厚板は輸出とエネルギー関連が堅調なため、フル操業に近く比較的タイトな状況であり、価格も原材料の値上がりにより新年度から値上げが見込まれ、本来ならば先高感が出てくる状況であるが、建設、土木等内需関連が低調なため、切板価格はまだ先行き不透明感が払拭できない状況である。

### 一般鋼

- ① 国内の安定した需要が定まらないまま、相場が底を打つことがあるとすれば、それは需給のバランスが低位でも保たれ、デフレの連鎖を断ち切るような状況が生じた場合だと思う。ここ1～2週間の各メーカーの値上げ発表に、我々は意を強くし、国内における鉄鋼相場を安定して押し上げられるよう、需要家に対して説明責任を果たしていきたいと思う。
- ② 正月明けの荷動きは、前年より好調にスタートするも持続せず。今、最大の問題はわが国だけが陥没していると指摘されている市況の値戻しであるが、この1週間の動きとしては、今ひとつの感がある。中国の経済事情等を気にせずに値戻ししたいものだ。

## 構造用鋼

- ① 店売りについては、前月より引合いは増えてきているが、基調は変わっていない。紐付については、自動車向けは一部回復しているが、その他一般産機、建機等はまだまだ回復には時間が掛かりそうである。

## その他

### <スクラップ>

- ① 1月は12月より相場は10%上昇。内外船積み、域内メーカーの購入は旺盛で、行き場には困らないが、これだけ世の中の動きが止まっていれば、持って行く物が無い。

### <金属表面処理加工>

- ① 1月は物件物、紐付材ともに計画通り。スポット物は年始早々の短納期発注を期待していたが、予想に反して低調であった。2月は高付加価値物件が多く、前月比2割増での稼働を予定しており、高操業となりそうである。

### <その他加工>

- ① 先々が不透明である。